

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	人工膝関節置換術を行った患者に対する後方視的観察研究による骨密度の経時的変化の検討(B25-177)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部 整形外科 診療講師 岩瀬 大
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>高齢化社会の進展に伴い、骨粗鬆症患者の数は増加しています。その中には、膝関節痛により Activities of Daily Living (ADL) が低下し、それに伴って骨密度のさらなる低下を認める患者さんも少なくないと考えられます。人工膝関節置換術は、膝関節痛に対する代表的な治療法の一つであり、術後に疼痛の改善やADLの向上が得られる患者さんも多くいます。また、ADLの向上により下肢への荷重が増加することで、骨密度が改善する可能性も考えられます。その結果として、必ずしも必要でない骨粗鬆症治療薬の内服を回避できる可能性もあります。</p> <p>当科では年間約100例前後の人工膝関節置換術を行ってきましたが、術前後の骨密度の変化がどのような患者さんに生じているのかを明らかにすることは重要であると考えています。本研究では、人工膝関節置換術を受けた患者さんを対象に、治療成績の評価とあわせて、骨密度が術前から術後にかけてどのように経時的に変化するのかを後方視的に調査することを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	2016年1月1日から2025年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に当院で人工膝関節置換術を施行された患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2016年1月1日から2025年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。すべて通常診療内のデータのみであり、データをこの研究のために収集する必要はありません。またデータの管理に関しては個人情報保護法に準じて行い、データ上すべての患者さんは匿名化され、お名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありません。</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、整形外科学一般研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。

<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：整形外科 診療講師 担当者：岩瀬 大(イワセダイ) 電 話：042-778-8111(北里大学病院代表)</p>
<p>備 考</p>	